



こども新聞を発行する全国 27 社でまとめた

「つながるこども新聞」

全国の小学校 5000 校に配布

こども新聞を発行する新聞社と子ども向け紙面を持つ新聞社 27 社では、毎年 3 月に 2 日間にわたって「こども新聞サミット」を開催しています。サミットでは全国から各紙のこども記者が一同に集まり、自分たちの世界をより良くするためにはどうしたらいいかを話し合い、大人たちに向けて提言を行っています。

第 3 回こども新聞サミットのテーマは、「みんながスポーツを楽しむにはどうしたらいいか」。今年 9 月に開催されるラグビーワールドカップ日本大会や、来年の東京オリンピック・パラリンピックを前に、こども記者たちが話し合った結果をブランケット判 8 ページの新聞「つながるこども新聞」にまとめました（<https://www.asagaku.com/pdf/kodomo19.pdf>）。

この新聞を全国 5000 校の小学校に 5 部を配布いたしました。



第3回こども新聞サミット

テーマ「みんながスポーツを楽しむには」

【最終提言】いっしょに挑戦し笑顔を広げよう

【分科会の提言】

◆地域振興①「スポーツで自分のまちをもりあげよう」

みんなが笑顔に、いつも話題になるように、多様で多世代の人がスポーツにふれる機会をつくろう

◆地域振興②「スポーツでわくわくのまちに」

スポーツの力と、自分のまちの魅力を知って、結びつけて、自信を持って広める！

◆共生「障がい者スポーツを楽しむには」

いっしょに体験し、いっしょに助け合い、もっと知るチャンスを増やそう！

◆科学技術「科学の力で20XX年のスポーツ界は？」

2032年には人間が科学の力を生かし、誰もがスポーツを楽しめる時代になってほしい

◆支える「子どもにできるボランティア・応援」

応援もボランティアも同じサポート。子どもにできるボランティアを広めていこう

◆教育「子どもは何のためにスポーツをするの？」

子どもは目標を立てて、全力をつくし挑戦する楽しさを見つけるためにスポーツをする！

こども新聞サミット実行委員会

北海道新聞社 河北新報社 福島民友新聞社 茨城新聞社 下野新聞社 上毛新聞社
朝日学生新聞社 毎日新聞社 読売新聞社 新潟日報社 信濃毎日新聞社 静岡新聞社
中日新聞社 京都新聞社 神戸新聞社 新日本海新聞社 山陰中央新報社 山陽新聞社
中国新聞社 徳島新聞社 愛媛新聞社 高知新聞社 大分合同新聞社 宮崎日日新聞社
南日本新聞社 沖縄タイムス社 琉球新報社